

謹賀新年



兵庫工業会

NEWS

平成31年1月1日

発行／公益社団法人 兵庫工業会

No.288



# 2019年の新年を迎えて



皆様、明けましておめでとうございます。

旧年中は兵庫工業会の諸活動にご支援、ご協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、米朝首脳会談、イランとの核を巡る合意破棄、米中貿易戦争等々、相変わらずトランプ大統領の米国第一主義に世界中が翻弄された一年だったように思います。また、英国のEU離脱の条件を巡る混乱、フランスマクロン政権への不満噴出、イタリアの国家予算へのEUからの批判、盤石に思われていたドイツメルケル首相の地盤沈下など、いわゆる先進自由主義国家の政権の不安定さが顕在化しました。そんな中で、少子高齢化、莫大な財政赤字、頻発する自然災害、老朽化したインフラ、隣国との領土問題などなど課題山積の日本ですが、安倍一強といわれる安定基盤を持つ安倍政権には、目先に囚われることなく10年、20年後を見据えた政策の策定、実行を期待したいものです。

昨年冬のオリンピックでの日本選手の大活躍、本庶先生のノーベル賞受賞などの明るい話題もありました。「そだねー」の言葉に癒され、羽生選手の怪我を乗り越えての連覇に大いに感動しましたが、私はスピードスケートの小平選手が滑走後ライバルであった韓国選手の肩を抱きかかえて健闘を讃えあった姿が今でも忘れられません。青臭い感想と一笑に付されそうですが、一人の人間同士ならここまで心を通いあわせられるのに、国対国、国民対国民となるとこうはいかない現実を歯痒く思います。

昨年の兵庫工業会の活動を振り返りますと、兵庫技術研修大学の運営、管理監督者研修、工場見学、海外視察、各種セミナー、懇親ゴルフ大会、夏のビッグイベント、ものづくり技術懇話会などの恒例行事に加えて、一昨年から始めた地区交流会の県内全地区一巡、神戸市と共同で首都圏学生への県内企業の紹介活動などを行いました。特に地区交流会では、地理的要因で工業会活動に参加しにくい会員企業との交流を深めることができ、その場での要望を受け、淡路地区、但馬地区で現地での研修会を開催し好評を得ました。また、各地区から新規入会企業が増え、3年ぶりに会員数が増加する成果もありました。加えて、首都圏学生への県内企業紹介や、神戸大学、兵庫県立大学、神戸市立工業高等専門学校学生のインターンシップや企業見学会など

を推進した結果、会員企業の喫緊の課題である人材確保として、若干名ではありますが、新入社員を迎えることができました。ただ、これまで以上の成果をあげるためには、更なる工夫の必要性を痛感しております。

2019年度の兵庫工業会の活動方針ですが、従来の課題に加えて、

- 働き方改革法案の大企業から中小企業への順次適用
- 4月からの外国人労働者の受け入れ拡大
- ラグビーワールドカップ開催と、その後のオリンピック、ワールドマスターズ競技会へ続くスポーツイベントにともなう建設業、スポーツ用品業、宿泊事業、運送業などの需要拡大
- 10月に予定されている消費税率アップ

などの環境変化への対応も重要になると考えています。それを考慮しつつ、昨年末に正副会長会議にて来年度の新たな活動項目を議論し、下記の項目を抽出いたしました。

1. 人材不足対策として
  - 自動化の一層の推進支援  
AI、IoT導入の方策、課題解決策の勉強会、補助金の活用策
  - 外国人労働者受け入れ体制の整備支援
  - 県内学生への会員企業の認知度向上活動の強化
2. 働き方改革法案施行に対応する必要事項、課題解決の勉強会
3. 会員企業へのサービス強化
  - 地区交流会の更なる発展策
4. 上記諸活動に対して、官学との連携強化

以上の項目につき、各委員会ですべての活動事項などの詳細をご検討いただき、2月の合同委員会、3月の理事会で議論・承認の手続きを進めてまいります。会員企業各位の叡智を頂きたいです。

2018年度も終わろうとしています。会員企業の皆様は業績の更なる向上のために日々励まれておられます。2019年度もさらなるご発展をされることを祈念するとともに、兵庫工業会が「入会してよかった」と思われる会にすべく「ともに拓いて」頂くよう更なるご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人 兵庫工業会

会長 大西功一

# 新年のご挨拶

## 副会長 村元 四郎

(グローバル化推進委員会 委員長)



新年あけましておめでとうございます。

昨年12月に出入国管理法改正案が国会で可決され、4月1日から新しい在留資格である「特定技能」制度を新設し、技能実習生制度をはじめとした外国人材受け入れは、大きな転換期を迎えます。

グローバル化推進委員会においても、この制度の詳細がどのようなものか確定した時点で、皆様への周知を目的としたセミナーなどを、できる限り早くに企画・実施したいと考えています。

また、昨年から実施している海外人材関連事業も含め、海外進出企業、これから進出を検討している企業、外国人人材獲得を目指す企業と多岐にわたるニーズにできる限りお応えできるよう、新たな事業も企画していく所存です。

会員企業各位におかれましては、本年も積極的にグローバル化推進事業にご参加いただきますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 副会長 金井 宏彰

(産業・技術振興委員会 委員長)



新年あけましておめでとうございます。

いよいよ平成30年間という一つの時代から更に変化の速い次の社会構造やパラダイムへ転換する節目の年となりました。

そんな中、足元の工業会活動としましては、昨年新たな事業として地区交流会を開催し、より多くの会員企業や地元企業様のニーズや課題を抽出することができました。今まさに人手不足・生産性向上・ロボティクス・IoT・ICTという社会的課題に対して工業会としての取り組みが急務と感じました。一方、少し以前の新規事業分野の拡大や技術事業のイノベーションへの工業会へのご要望・ご意見が少なかったのは気がかりです。

担当させていただいている産業・技術振興委員会では、引き続き昨年延期されました北欧への海外視察・国内先進企業の見学会・人手不足解消への取り組み、更に本質の技術向上・事業拡大にも注力し、皆様のお役にたてるように尽力してまいります。

## 副会長 馬場 宏之

(会員交流委員会 委員長)



新年あけましておめでとうございます。昨年も皆様のご協力で会員交流委員会の各活動が活発におこなわれましたことに厚く御礼申し上げます。

また、定期的な委員会行事に対して、大変高い出席率で参加していただき、会員交流にも成果があったと感謝しています。2年目を迎えた地区別会員情報交換会(地区交流会)では、丹波、西播磨、阪神、東播磨の4地区で開催し、一昨年実施の淡路、中播磨、北播磨、但馬に加えて予定通り、兵庫県8地区の企業の方々との情報交換することができました。まさに、各地区からの「生の声」を伺いながら、工業会から、行政からの情報発信もさせていただき、実りある交換会であったと確信しています。改めて工業会の本来あるべき会員への魅力あるサービスを見直す機会や気づきをいただきましたので、今後の活動に反映すべく、今年以降、皆様方の協力のもと、推進していきたいと思っております。引き続きのご支援、ご協力をお願いし、新年の挨拶とさせていただきます。

## 副会長 竹田 佑一

(人材育成委員会 委員長)



新年あけましておめでとうございます。旧年中は多くの方々にお世話になり、又、各事業に多くの方がご参加頂き、本当にありがとうございました。

2018年を振り返ってみますと、景気は良くなっているのだと思いますが、何といても人手不足が深刻で、経営者の皆様の不安感は一層高まっているように感じます。外国人労働者の雇用延長等、政府の政策も本格化してくるものと思われませんが、我々としては、やはり生産性向上に向けて、本来のやるべきことをきちんと実施していくことが大切と考えています。各社それぞれ色々な課題をお持ちと思いますが、特に現場を重視して、現場の担当者の方々の理解を深めていければと思っています。お忙しかったり、地域性の問題もあって、参加しにくい会社もあろうかと存じますが、今年も昨年同様出前形式のデリバリー研修にも力を入れてまいります。是非各事業にご参加頂き、問題点を共有して頂き、課題の克服に努めて頂ければと思います。私共としても、少しでもお役に立てれば幸いです。今年もどうぞよろしくお願い致します。

# 兵庫の新たな歴史を築く



新年あけましておめでとうございます。

4月には平成が終わり、5月から新元号の新たな時代が幕を開けます。さらに、9月のラグビーワールドカップ世界大会を皮切りに2021年のワールドマスターズゲームズ2021関西に続くゴールデンスポーツイヤーズがはじまります。2025年大阪万博の開催も決定しました。今後、日本、関西、兵庫に世界の関心が集まることでしょう。

兵庫は、神戸港の開港以来、海外の文化や産業を取り入れ日本を先導してきました。それだけに、この機を捉え、世界の成長を呼び込み、人口減少と高齢化が同時に進む中でも、将来にわたり活力に満ちた地域としなければなりません。

五国の多様性を活かし、「兵庫2030年の展望」が描く自分らしい生活や働き方ができる「すこやか兵庫」の実現をめざして、新時代のふるさと兵庫を創ります。

第1は、安全安心で豊かな暮らしの実現。頻発する自然災害や来るべき大規模災害への備えを強化します。また、子育て環境の充実や医療介護体制の確保など、安心して暮らせる基盤をつくります。

第2は、未来へ続く地域活力の創出。次世代産業の創出や新事業展開の促進、農林水産業の基幹産業化を進めます。また、地域と世界で活躍できる人材の育成に加え、誰もが生涯活躍できるよう、学び直しや多様な働き方を支援します。

第3は、国内外との交流・環流の拡大。インバウンド対策など内外からの誘客促進や五国の持つ資源を生かしたツーリズム人口の拡大、県外県民「ひょうごe-県民」の登録など人口の環流促進を図ります。高速道路の整備や空港、港湾の有効利用など交流の基盤となる交通インフラを充実します。

いつの時代も、ふるさとの将来に夢や希望を持ち、果敢に挑む人々が兵庫の明日を切り拓いてきました。兵庫の新たな歴史を築くための第一歩を共に踏み出していきましょう。

兵庫県 150年 新スタート 五国を活かし すこやかめざす

兵庫県知事

井戸敏三

# 新年に寄せて



新年明けましておめでとうございます。

兵庫工業会におかれましては、課題解決型アクティブラーニングによる産学連携事業や海外展開支援事業へのご協力に加えて、今年度は新たに、首都圏理系大学生による神戸市ものづくり企業見学研修にも取り組んでいただいております。深く敬意を表しますとともに、これからも地域の産業を支え、雇用の受け皿として重要な役割を果たしておられる兵庫工業会の皆様と力をあわせ、地域経済の発展を目指してまいりたいと存じますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成31年(2019年)は我が国にとって大変重要な年となります。4月30日の天皇陛下御退位に伴い「平成」が幕を閉じ、5月1日に皇太子殿下が即位され、新たな元号に改められます。折りしも、神戸にとっては、明治22年(1889年)の市制施行により神戸市が誕生してから130周年という節目の年でもあります。

まさに新たな年の幕開けにあたり、神戸は、これまで先人が築き上げてきた歴史や営みを受け継ぎながら、輝かしい未来に向かって着実に歩みを進めていかなければなりません。本格的な人口減少時代を迎え、神戸が将来にわたって活力を維持していくためには、都市の魅力を磨き、選ばれるまちとしての価値を高めていくことが重要です。

そのため、神戸の強みである「居住都市」としての質をさらに向上させるとともに、神戸医療産業都市の推進など神戸経済の活性化を図ります。また、神戸港や六甲山系など美しい景観を崩すことがないように調和のとれたまちづくりを進めるほか、空家・空地の解消など地域再生への取り組みも行ってまいります。

さらに、子育て世代への切れ目のない支援や子どもたちの教育環境の充実、認知症対策「神戸モデル」をはじめとした高齢者支援の充実を図るとともに、若い世代を中心とした起業創業の創出など、特色ある取り組みを引き続き進めてまいります。

今後も、様々な分野の施策にバランスよく取り組み、まちの総合力を高め、誰もが心地よく健やかに住み、学び、働き続けられる魅力あふれるまちづくりに力を尽くしてまいりますので、神戸市政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことをお祈りいたします。

神戸市長 久元 喜造

# 年 新 賀 謹

会 副	長 会 長	大 村	西 元	功 四	一 郎	理 事	清 眞	水 下	泰 直	人 忠
〃	〃	金 馬	井 場	宏 宏	彰 之	〃	井 小	上 松	俊 利	也 彦
〃	〃	竹 宮	田 本	佑 一	一 要	〃	番 石	所 田	和 啓	行 史
専 務 理 事	専 務 理 事	荒 小	木 澤	俊 重	光 雄	〃	中 近	川 藤	勝 啓	之 輝
〃	〃	森 川	田 旗	文 邦	藏 彦	〃	瀧 高	川 馬	勝 裕	吾 勇
〃	〃	西 阿	比 野	剛 智	史 剛	〃	上 中	村 川	勝 裕	敏 子
〃	〃	井 大	上 庫	美 良	代 一	〃	安 永	藤 井	英 昌	隆 雄
〃	〃	大 井	上 島	佳 孝	昭 一	〃	神 淺	門 井	昌 義	登 信
〃	〃	大 苗	村 田	康 武	夫 保	〃	豊 黒	嶋 田	次 修	富 郎
〃	〃	岡 吉	田 山	勝 彦	和 修	〃	深 太	田 倉	和 康	司 勲
〃	〃	陰 高	橋 村	悦 眞	聡 彦	〃	阿 宮	内 松	一 寿	哉 伴
〃	〃	中 久	木 元	眞 雅	啓 子	〃	矮 降	矢 藤	公 賢	磨 民
〃	〃	松 頃	本 安	眞 真	一 樹	〃	友 小	川 津	千 昭	雄 一
〃	〃	畠 小	谷 月	靖 史	一 要	〃	三 戎	井 西	久 昭	磨 彦
〃	〃	上 大	久 保	明 俊	史 安	〃	中 倉	本 井	恭 信	吏 二
〃	〃	富 下	山 村	直 純	安 男	〃	倉 下	土 井	康 隆	晴 一
〃	〃	今 黒	北 田	樹 三	子 毅	監 事	宮 福	脇 田	純 博	郎 孝
〃	〃	山 本	本 本	純 三	樹 三	〃	藤 山	嶋 本	博 和	子 和

# 兵庫工業会 平成30年度「会員交流懇親会 忘年パーティー」

〈敬称略〉

2018年の兵庫・神戸産業界は総じて堅調に推移し、明るい話題に事欠かない1年でした。兵庫県政150周年、神戸医療産業都市20周年などさまざまな節目を迎えた年でもあり、記念式典などのイベントが相次いで盛大に開催されました。特に神戸医療産業都市は300社を超える企業集積が進み、神戸医療産業都市推進機構理事長を務める本庶佑氏が2018年ノーベル医学・生理学賞を受賞したことも重なり、記念事業は二重三重の喜びに沸きました。スポーツ分野でも世界の有名選手が神戸に集まりました。ラグビートップリーグの神戸製鋼コベルコスティーラーズには元オールブラックス（ニュージーランド代表）のダン・カーター選手、サッカーJリーグのヴィッセル神戸には元スペイン代表のアンドレス・イニエスタ選手が加入しました。

一方で自然災害の多い年でもありました。6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、8月、9月の大型台風直撃と立て続けに災害が相次ぎました。防災対策、技術の進展などにより、かつての同規模災害と比較すると被害は大幅に抑えられるようになりましたが、それでも産業界や生活への影響は小さくありませんでした。台風により関西国際空港が浸水、連絡橋も損傷し、一時空港島が孤立するという事態が生じました。幸い、国を挙げての復旧作業が進められ、想定より早く空港機能を取り戻しました。関西の国際空港機能の代替議論で、神戸空港の存在もクローズアップされました。ちょうど4月から関西エアポートによる運営に移行し、関西空港、伊丹空港を合わせた関西3空港の一体運営がスタートしていたこともあり、今後の神戸空港の国際化、就航便数などの拡大に向けた機運が高まりました。

兵庫工業会は「ともに拓く兵庫工業会」の基本方針に沿って、会員企業を第一に考えた施策を展開してきました。広い兵庫県を考慮し、「工業会活動への会員の参加機会を均等に」を目的に、2年間にわたり「地区別会員情報交換会」を展開しました。18年度は丹波、西播磨、阪神、東播磨の4地区で開催し、2年間で兵庫県内の神戸を除くすべての地区を回り終えました。各地区で会員の生の声を聞き、今後の工業会活動に反映させる取り組みです。ただし、これで終わりではありません。今後、「地区別」から「個別」の会員に密着する一歩進んだ活動を展開し、取り組みを前進させていく予定です。

そのような平成30年も終わる12月4日、神戸ポートピアホテルで恒例の「平成30年度会員交流懇親会 忘年パーティー」が盛大に開かれました。兵庫工業会の会員の皆さんをはじめ、産・学・官の関係者ら約180人が集まり、懇親を深めるとともに、用意されたさまざまなイベントで盛り上がりました。

## 体験型イベントに興味津々

忘年パーティーは二部構成で、第一部は16時30分から始まりました。会員企業による物産展とゴルフやきき酒などの体験型イベントが開かれました。会場入り口に広く設けられた物産展では季節の和洋菓子、コーヒー、ゴルフ用品、健康機器といった自慢の商品がずらり。明興産業が環境・健康にやさしい商品を販売するために設立した環健社は下土井康晴会長が淡路で栽培するニンニクやタマネギを用いた健康食品を販売しました。兵神機械工業も自社で手がける水耕栽培システムの野菜やブランド米を販売。大和ハウス工業は子会社のエリーパワーが販売する停電時の電源として使用できる蓄電池システムを富士ゼロックス兵庫の複合機と接続して展示するなど、企業間連携の輪も生まれていました。神戸市スポーツ室は神戸市も開催会場となっている2019ラグビーワールドカップのPR活動を行いました。

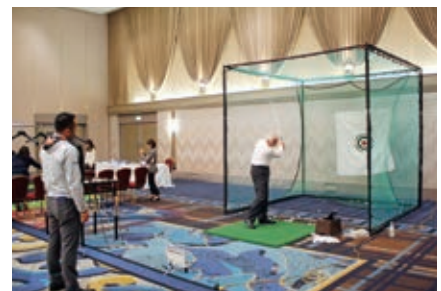
人気商品が忘年パーティー限定価格での販売もあり、にぎわいを見せていました。会場真ん中では清酒（ヤエガキ酒造が協賛）とワイン（メルシャンが協賛）のきき酒にチャレンジ。全問正解者に贈られる景品をお目当てに、真剣な表情でお酒を注ぎ、解答用紙に書き込む人も、顔を赤らめながら会話に花を咲かせる人も。会場奥にはバターゴルフ（住友ゴム工業が協賛）体験コーナーがあり、3球中カップインした回数に応じてボールがプレゼントされました。挑戦者は周囲の歓声を受けながらパットが決まると顔をほころばせていました。隣接して設けられたゴルフレッスン場では、HANA GOLF ACADEMYのプロ選手を



物産展



きき酒



ゴルフレッスン

指導するトレーナーがレベルに合わせてマンツーマン指導しました。トレーナーによると「こういう場でレッスンを希望する人は腕に自信がある人がほとんど」だそうです。手厳しいコーチングに対し、細かい質問をしたり、体のひねりを変えてみたり、ブースは真剣ムードそのものでした。アシックスによる歩行測定は、頭の揺れ方向や、腕振りの左右差などをもとに、体のバランスや姿勢の年齢を測ります。「腰を大きく振って効率よく歩く人が多いです」との傾向があるようでした。

## 成果着々、兵庫工業会事業



大西会長挨拶

17時30分、忘年パーティーの開会です。冒頭の兵庫工業会の大西功一会長が挨拶では「今年も兵庫工業会活動に協力していただき、ありがとうございました」と感謝の言葉を述べるとともに、今期の兵庫工業会の活動の成果を総括しました。会員の皆様が研修会や見学会へ積極的に参加いただいたことや、2年間にわたり実施してきた地区別会員情報交換会について「阪神間で開催することの多い工業会行事に参加できないという遠方会員の利便性を高めるために行いました。昨年の情報交換会で出された要請を受けて、各地域へデリバリー研修も行い成果が上がっています」と述べました。また、福引き大会で当選してもその場にいないければ再抽選となるルールを説明し、「今回は最後に神戸製鋼コベルコスティーラーズ、ヴィッセル神戸のスター選手のサイン入り賞品を用意

しています。くれぐれも中座なさらないように」と呼びかけ、会場は笑いに包まれました。

来賓の片山安孝兵庫県産業労働部長は「兵庫工業会の取り組みで一番素晴らしいのは地区別会員情報交換会です。先日も東播の会に行きましたが、一番の話題は人手不足に対する切実な声でした。今、話題となっている外国人労働者に関する兵庫県の姿勢を申し上げますと、まず若者に働いてもらう、次は女性、そして高齢者、さらに生産性向上をやって、どうしてもない場合に外国人労働者を活用してもらうということです」と明快に説明されました。結びは「地域企業の皆さんに明るく元気にやってもらって兵庫経済の発展に貢献してもらうことが一番と思っています。そのために県も最大限努力します」と締めくくりました。



来賓ご挨拶

## 新入会員紹介

平成30年度の兵庫工業会新入会員は企業16社、個人2名でした。忘年パーティーには企業12社18名、個人2名が出席、紹介された新入会員はひとことずつ自己紹介しました。出席した新入会員は以下のとおりです。

(株) イレブンインターナショナル	大東精機 (株)
HKテクノロジー (株)	大和リース (株) 神戸支店
(株) 川重サポート	高丸工業 (株)
甲南設計工業 (株)	姫路合同貨物自動車 (株)
三和紙器 (株)	(株) 松田ポンプ製作所
(株) シールズ	桂朱実氏 (個人会員)
セツカートン (株)	竹村正樹氏 (個人会員)



新入会員紹介

## 鏡開き

鏡開き、乾杯にはヤエガキ酒造の樽酒が提供されました。鏡開きを行ったのは兵庫県の片山安孝産業労働部長と兵庫工業会の大西功一会長、村元四郎副会長、金井宏彰副会長、馬場宏之副会長と竹田佑一副会長の6人。「せーの、よいしょ!」の



かけ声に合わせて、槌を元気よく振り下ろしました。続いて馬場副会長が「今年も会員、行政、大学など皆様方のご協力で、無事事業を遂行することができました。来年以降も発展していきたいという気持ちと感謝の気持ちを込めて乾杯しましょう」と挨拶し、会場の皆で乾杯しました。



鏡開き



乾杯

## 福引き大会 豪華賞品巡り熱気あふれる

交流会では、赤いたすきをかけた会員交流委員会メンバーが配置され、歓談を広げる役目を果たしました。日頃の工業会活動などで見知った顔の会員同士がこの1年を振り返る話を交わしたり、初対面の人を紹介したり、会場のあちこちでグラスや料理の入ったお皿を手で歓談の輪ができていました。

間もなくメインイベントである福引き大会が始まりました。会員各社から提供された賞品は128本。前半の会員企業賞は、くすのき会「高級ハムセット」1本、アベックス西日本「ココアセット」8本、キリン・ディアジオ「ジョニーウォーカー ゴールドラベルダブルブラックラベル」2本、キリンビバレッジバリューバンダー「キリン生茶24本入り」10本、関西キリンビバレッジサービス「キリンファイア挽きたて微糖30本入り」5本、シマブンコーポレーション・アイランドフューチャーコーポレーション「黒豆煮豆・栗甘露煮詰め合わせセット」5本、コベルコビジネスサポート「ANA CROWNE PLAZA KOBE お食事券」1本、シスメックス「日本酒福寿大吟醸」6本、兵神機械工業「水耕野菜・ブランド米ミルクークイーンセット」10本、阿比野建設「カタログギフト」3本、同「ピワミンセット」3本、神戸風月堂「ゴルフ、レスポワールクリスマスセット」12本、白鶴酒造「超特撰 天空 純米大吟醸 白鶴錦 720ml」6本、ヒガシマル醤油「龍野乃刻」10本、フルヤ工業「カシオGショック フルヤスペシャルバージョン」2本、上月ウディックス「上月オリジナルデスク」1本。

当選者の名前が読み上げられる度に周囲から歓声が上がリ、それぞれプレゼンターから賞品を受け取っていました。

続いて、第1部で行われた「きき酒会」の結果が発表されました。日本酒部門は全問(5問)正解者が3人も出ました。全問正解の神戸製鋼所の名定賢治さん、日清鋼業の原田浄さん、シマブンコーポレーションの正垣亮さんには、ヤエガキ酒造から「褒紋(ほうもん)純米吟醸720ml」が贈られました。

一方、ワイン部門は全問正解者は出ませんでした。最高の3問正解者3人(滝川工業の瀧川松平さん、日新情報システムの安藤勝之さん、日清テクノスの吉田貞二さん)に、メルシャンから「カシエロ・デル・ディアプロ デビリッシュ・エディション カベルネ・ソーヴィニオン2017 720ml」が贈られました。



きき酒発表

## 後半戦にはサプライズも

福引大会の後半戦が始まる前に、一つ目のサプライズの仕掛けがありました。甲南設計工業の藤井正典社長が壇上に立ち、提供賞品の説明を始めると音楽が流れ出しました。賞品はフュージョンバンド「カシオペア」のドラマーとして知られる神保彰氏サイン入りのドラムヘッド、さらに松任谷由実コンサートチケットで、いずれも入手しにくいレアものです。特別に藤井社長と参加者全員のじゃんけん大会が行われ、キリンビバレッジバリューバンダーの榎田さんが見事勝ち抜き、賞品を手に入れました。

一つ目のサプライズの余韻が冷めない中、後半の福引き大会がスタート。豪華賞品が続くとあって、前半戦で当たらなかった出席者の期待は高まる一方です。後半戦の賞品は会員企業賞が日本旅行神戸支店「旅行券」、近畿日本ツーリスト関西神戸支店「琵琶湖グランドホテル ペア宿泊招待券」、神戸ポートピアホテル「ペア宿泊券」、ホテルオークラ神戸「ペア宿泊券」、夢舞台「ペア宿泊券」、川崎重工業「ヴィッセル神戸ユニフォーム+イニエスタマグカップ+ゴルフボールセット」、神戸製鋼所「カタログギフト」です。

さらに兵庫工業会の会長賞、副会長賞が続きます。竹田副会長賞(まねき食品提供)の「おせち料理」はフジ・データ・システム

の藤嶋さんとトーホーの古田さんが当選。馬場副会長賞(住友ゴム工業提供)の「ゼクシオゴルフバッグ」は日本ライニング工業の中川さんが当選しました。中川さんは「ゴルフをしていません」とのことでしたが、すかさず司会者から「これを機にぜひ始めてください」との返しがありました。

金井副会長賞(金井重要工業提供)の「古泉閣宿泊券」はハーテック・ミワの藤原さん、村元副会長賞の「ギフトセレクション」はスマダ印刷の隅田さんがそれぞれ当選。最後の抽選となった大西会長賞の豪華な「神戸ポートピアホテルおせち料理セット」は阿比野建設の阿比野剛社長に当たると会場は大盛り上がり。拍手の中で壇上に立った阿比野社長は「実は当たる予感がありました。なのに挨拶は考えていませんでした」と笑わせ、「皆さんのおかげです。感謝あるのみです」とお礼の言葉を述べました。



歓喜の中各賞に当選して商品を受け取る皆様



会長賞品贈呈

## 白熱したじゃんけん大会

福引き大会は終わりましたが、まだ目玉賞品が残っています。大西会長が挨拶で話した神戸製鋼コベルコスティーラーズのダン・カーター選手サイン入りユニフォームTシャツ2枚と、ヴィッセル神戸のアンドレス・イニエスタ選手とルーカス・ポドルスキ選手のサイン入りユニフォーム各1枚です。いずれもラグビー、サッカーの世界最高峰の選手のサイン入りだけに、出席者の目は賞品に釘付けです。

同賞品は特別賞として、会場を「ラグビー好き」と「サッカー好き」に二分し、ステージ上の大西会長とのじゃんけん大会で争いました。サッカー好きの方が若干競争率は高いようですが、それぞれ最後の2人に残るには何度もじゃんけんに勝たなければなりません。じゃんけんの度に人数は絞られ、最終的にダン・カーター選手ユニフォームTシャツは川崎重工業の堂本さんと小生、イニエスタ選手ユニフォームはヤスヒラの太田さん、ポドルスキ選手ユニフォームは共和電子製作所の水野さんが手にしました。取材者の身でありながら特別賞をゲットし、いぶんひんしゆくを買いましたが、根っからのラグビーファンゆえ本気になってしまった結果です。お許しください。大西会長からは「お値打ちものだけに、オークションに出品することのないように見張っておきます。もしそんなことがあれば通報します」と意味深な発言も飛び出しましたが、家宝として大切にすることを誓います。



特別賞品贈呈



中締め挨拶

福引き、じゃんけん大会の熱気もさめやらぬうちに2018年の忘年パーティーは上月靖史理事(会員交流委員会副委員長)の中締め挨拶と三本締めでお開きとなりました。

去りゆく2018年が兵庫県産業界、兵庫工業会にとって明るい話題が多く、実り多き1年であったことは、忘年パーティーの出席者の表情からもうかがい知ることができました。来たる2019年もこの勢いを持続し、さらに発展に向かうことと確信しています。私どもも産業界の応援団として、皆様の前向きな情報をより一層広く発信することに努めたいと考えています。どうぞよろしくお祈りします。

(日刊工業新聞社神戸総局長 花岡敬二)

# 第15回ものづくり技術懇話会・交流会のご報告

11月6日(火)、たつの市・姫路市において「第15回ものづくり技術懇話会」を開催いたしました。

懇話会には兵庫県産業労働部、県立ものづくり大学校、県立工業技術センター、関係機関、学術関係者、兵庫工業会役員・会員企業の経営者や研究・技術者など合わせて57名が参加されました。

今回の見学も昨年同様「中小企業のIoTへの取組み」をテーマとして、たつの市にある極東産機(株)を訪問し、工場見学を行いました。到着後、まず頃安社長から会社概要について説明があり、その後、2班に分かれて見学を行いました。工場は2ヵ所あり、研修センターがある島田工場と組立作業がメインの神岡工場です。約1時間の見学を終えた後、ホテル日航姫路に移動して、講演会・意見交換会へと進みました。



極東産機(株)にて



意見交換会の会場風景

意見交換会では大西会長から「ものづくり技術懇話会へのご参加ありがとうございます。本日は、極東産機(株)の2ヵ所の工場を見学させていただき、非常に元気な会社だと感じました。また、株式上場、および創立70周年おめでとうございます」と、お祝いを述べられ、「この後の意見交換では大いに議論をお願いします」との挨拶でスタートしました。今回は極東産機(株)頃安社長から「当社のIT・IoTへの取組み」というテーマで講演を行っていただきました。20数年前、当時はIoTという言葉はなかったが、その頃から色々な形でデータを取得してきた実績があり、豊を作る業界の中でお客様を巻き込んだIoTの構築に取り組んでいきたい。それがお客様へのサービスにもなる、その様なビジネスモデルを作りたいとの思いを聞くことが出来ました。講演終了後は工場見学の感想、頃安社長の講演内容も含めて活発な意見交換ができました。

交流会では、金澤副知事から「今年は県政150年、記念事業の一環として2030年展望という兵庫の未来像をまとめました。11項目の1番最初に載っているのが価値・創造経済、いわゆる産業経済の世界です。12年後に兵庫はどのようになっているのか、あるいはなりたいかビジョンをまとめたものです。また、このような場を作っていただける皆様に感謝したい」と挨拶があり、兵庫県立大学太田学長の乾杯のあと、参加者の皆さんでお互いに情報交換がされ、有意義な「第15回ものづくり技術懇話会」となりました。

ご対応頂きました極東産機(株)関係者の皆様には、紙面をお借りしまして、お礼申し上げます。



大西会長挨拶



金澤副知事ご挨拶



左から矢野本部長、瓜本本部長、頃安社長



工場見学の様子

# 兵庫工業会東播磨地区会員情報交換会開催について

兵庫工業会は、地域の要望を踏まえたきめ細かい事業運営を行うために、平成29年度より新たな“会員交流事業”として、兵庫県下を8つに分け、地区ごとに会員の皆様にお集まりいただいて兵庫工業会役員(会長・副会長・理事)や行政の方々と意見交換をしていただく、「地区別会員情報交換会」を開催することになりました。

今回は今年度最後の東播磨地区についてご報告いたします。

## 1. 東播磨地区会員情報交換会

- (1)開催日 平成30年11月22日(木)
- (2)開催場所 ホテルキャッスルプラザ (明石市)
- (3)参加者
- |            |                |
|------------|----------------|
| ①東播磨地区会員企業 | 13名            |
| ②会員交流委員会企業 | 3名             |
| ③行政        | 兵庫県5名、東播磨県民局2名 |
| ④マスコミ      | 1名             |
| ⑤兵庫工業会     | 大西会長 他         |
- 事務局を含め計35名の方々にご参加いただきました。



東播磨地区意見交換会

### (4)意見交換会

会員交流委員会の時枝委員の司会のもと、以下のことが話題になりました。

- ①この地域でもものづくりを続けるために物流を良くしてほしい。行政には、地域の交通網の整備をお願いしたい。
- ②仕事はあってもこなす人材がないのが実態。大手にない中小の魅力発信をどうするかが悩み。
- ③学生が中小企業に就職するようになるには、先生方のみならず、学生の親や家族全員への働きかけが必要。
- ④現状、人材確保のためには、新卒者だけでなく、再就職者などもターゲットに考えるべき。
- ⑤採用が難しい理系人材の育成や外国人採用による人事部門の負担増が課題。食品関連の交流会を開催してほしい。
- ⑥工業会には、自社が受け入れているベトナム実習生向けの研修をお願いしたい。

### (5)交流会

交流会では、宴会場に場所を移して、和やかな雰囲気の下、更に皆様活発に意見交換いただきました。地元の(株)宮脇プラントの宮脇会長の乾杯ご挨拶で始まり、地元の(株)丸十の松尾社長より中締めご挨拶をいただき、盛会の内に終了いたしました。東播磨地区の多くのものづくりに関わる方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。



東播磨地区交流会  
乾杯ご挨拶



東播磨地区交流会  
中締めご挨拶

### (6)次年度以降について

平成29、30年度の2年間で兵庫県内の神戸を除く8地区を順番に回ってきて、参加いただきました多くの企業の皆様から様々なご意見をいただき、誠にありがとうございました。このご意見を元に兵庫工業会の事業計画を立案実施してまいりますので、今後も皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 新 会 員 紹 介

### 井上ヒーター株式会社

代表者 代表取締役 井上 雅晴  
所在地 〒662-0934  
兵庫県西宮市西宮浜4丁目1番43号  
TEL 0798-37-0501  
FAX 0798-37-0530  
URL <http://www.ihc-japan.co.jp>  
資本金 1,200万円  
従業員数 27名

#### ■営業品目

フィンチューブ式熱交換器プレートフィンヒーター  
プレートフィンクーラー

#### ■事業内容

百年以上に渡って熱交換器の設計・制作をしてきました。主たる製品はクーラーやヒーターとして使用される液ガスタイプのプレート式熱交換器です。業界のパイオニアとして化学工業、薬品、食品、繊維などあらゆる業界に納入しています。H29年「阪神南リーディングテクノロジー企業」に認定、西宮優良事業所顕彰、H30年ひょうご産業活性化センターから成長期待企業に選定されました。



## 三和紙器株式会社

代表者 取締役社長 青山 総一郎  
 所在地 〒661-0952  
 兵庫県尼崎市榎堂2丁目1番1号  
 TEL 06-6492-6111  
 FAX 06-6492-6115  
 URL <http://www.sanwasiki.co.jp>  
 資本金 3,600万円  
 従業員数 400名

### ■営業品目

段ボール紙器製造・フードサービス事業・ケアサービス事業

### ■事業内容

当社は1964年尼崎に於いて段ボール紙器製造会社として創業し、現在はフードサービス事業、ケアサービス事業とともに3事業を営んでいます。段ボール事業では紙粉除去装置による安全で衛生的で安心の出来る段ボール箱を製造しています。フードサービス事業ではミスタードーナツ11店舗とコメダ珈琲4店舗の計15店舗を展開し、ケアサービス事業では食品工場内の清掃を受託しています。



## 大和リース株式会社 神戸支店

代表者 支店長 角一 吉昭  
 所在地 〒651-0086  
 神戸市中央区磯上通4丁目1番6号  
 シオノギ神戸ビル5階  
 TEL 078-291-0813  
 FAX 078-291-0819  
 URL <http://www.daiwalease.co.jp>  
 資本金 21,768万円  
 従業員数 2,326名

### ■営業品目

プレハブ建築・土地活用・車両等のリース・自走式立体駐車場建設・緑化事業

### ■事業内容

規格建築事業では建物の設計施工・リース事業を展開。自社で商材を持つメーカーでもある。流通建築事業では土地活用を企画立案から建設運営管理までトータルサポートし複合商業施設を展開。リーシングソリューション事業では、車・環境・福祉関連分野のリース事業を幅広く展開し低コストで提供。自走式立体駐車場の建設運営も行う。環境緑化事業では建物の壁面や屋上等、幅広い場所で緑化の施工を展開。



## 高丸工業株式会社

代表者 代表取締役 高丸 正  
 所在地 〒662-0925  
 兵庫県西宮市朝風町1-50  
 JFE西宮工場内  
 TEL 0798-38-9200  
 FAX 0798-38-1919  
 URL <http://www.takamaru.com>  
 資本金 8,500万円  
 従業員数 27名

### ■営業品目

産業用ロボットシステム・工場内生産設備機械等企画設計製造

### ■事業内容

当社は創業52年の装置メーカーで、1978年からロボット関連事業に参入した、老舗のSIerロボットシステムインテグレーターです。2018年3月に完了したロボット導入実証事業では、全国最多となる12件の採択を受けました。またその対象は全て中小企業です。プログラムにより動作変更が可能なロボットは、多品種少量生産に向けたシステムです。労働力不足に悩む多くの中小企業の、ロボット利活用推進に全力を挙げて取り組んでいきます。



## 姫路合同貨物自動車株式会社

代表者 代表取締役社長 北野 穰  
 所在地 〒670-0843  
 兵庫県姫路市城東町清水6番地  
 TEL 079-222-2891  
 FAX 079-288-4728  
 URL <http://www.himego.co.jp>  
 資本金 8,400万円  
 従業員数 約1,000名

### ■営業品目

貨物運送事業・倉庫業・産業廃棄物処理業・水産食料品加工業・建設機械賃貸業

### ■事業内容

姫路市を本拠地として東京、愛知、大阪、兵庫県内各所、岡山、広島県に拠点を有する物流企業です。取扱いとして大型トレーラー車による重厚長大物から軽貨物車による個人宅配まであらゆる物流業務をこなします。また県下に30000坪を超える自社倉庫を有し物流に付随した様々なサービスの提供が可能です。その他“兵庫のり”の食品製造加工や産業廃棄物収集運搬・処理などにも取り組んでいます。



# 平成30年度職域における創意工夫者表彰 表彰式

現場の改善活動などに貢献された方々を顕彰する「職域における創意工夫者表彰式」を12月25日(火)、兵庫県公館にて開催し、兵庫県知事賞70名、兵庫工業会会長賞75名の方々が受賞されました。

厳かな雰囲気の中、それぞれ代表の方に金澤副知事、大西会長より賞状と記念品が手渡され、式後は各所で記念撮影される受賞者が見られました。受賞者の皆様、おめでとうございます。



代表受賞者への兵庫県知事賞授与



大西会長挨拶

## 会員交流懇親会風景



懇親会場



ききワイン

## イベント情報

月 日	事業名・内容	場 所
2月1日(金)	会員交流見学会	京都 (株モリタ製作所、関西電力(株)蹴上発電所)
2月21日(木)	合同委員会	有馬 古泉閣
3月12日(火)	平成30年度第4回理事会	ホテル北野プラザ六甲荘
5月11日(土)	ゴルフ大会 (予定)	美奈木ゴルフ倶楽部
5月28日(火)	第60回通常総会 (予定)	神戸ポートピアホテル

## 会 員 動 向

新入会員				
企業名	代表者名	所在地	入会月	
姫路合同貨物自動車株式会社	代表取締役社長 北野 穰	姫路市	平成30年9月	
井上ヒーター株式会社	代表取締役社長 井上 雅晴	西宮市	平成30年10月	
三和紙器株式会社	代表取締役社長 青山 総一郎	尼崎市	平成30年10月	
高丸工業株式会社	代表取締役 高丸 正	西宮市	平成30年11月	
大和リース株式会社 神戸支店	神戸支店長 角一 吉昭	神戸市	平成30年11月	
代表登録者変更				
企業名	新登録者	旧登録者	変更月	
阪神電線株式会社 電線事業部	事業部長 八木 豊弘	井上 秀人	平成30年8月	

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人  
兵庫工業会

本 部 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3階  
神戸事務所 TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp  
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所 〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3階  
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231